

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'95
10 月号 【1日発行】

民謡ロック
伊藤多喜雄
コンサート
好評前売中



白 樺



いまを話す

心の響き映し出す墨

瀬崎 竜彦さん(19)

天才的書の個展開き注目される

青少年の皆さんの参加を

「子ども会議」で、より楽しい施設に

八ヶ岳少年自然の家、黒川青少年野外活動センター、青少年創作センター、青少年の家を利用して、青少年の皆さんはどのような感想をお持ちですか。皆さんの声を「子ども会議」で聞かせてください。施設の利用の仕方などに生かします。

- **テーマ** 私たちが考える青少年施設～こうならいいな！こんなところが大好き！
- **日程** 12月9日(土) 10日(日) 1泊2日
- **会場** 青少年の家（宮前区宮崎）
- **対象** 小学5年生から高校生、約30人
- **申し込み問い合わせ** 電話か、はがきに住所・氏名・年齢と関心のある施設を1つ決めて、〒210 川崎区宮本町6、☎200-3309川崎市教委青少年教育課（締め切りは10月末日）。

陶芸・野外活動で仲間づくりを

創作活動や野外活動を通して、友達の輪を広げます。皆さんの参加をお待ちしています。

- **対象** 市内小学3年～中学生25人
(全日程参加できる人)。
- **参加費** 2500円(教材費、食事代、保険料)
- **申し込み問い合わせ** 10月20日(金)までに往復はがきに住所・氏名・電話・学校・学年・性別を記入し、〒214 多摩区三田2-3303-1、☎911-1510川崎市青少年創作センター。

●日時と内容

11月5日(日)	10時～16時	仲間作り・陶芸
12日(日)	13時半～16時	陶芸
18日(土) 19日(日)	16時～ (宿泊)15時	野外炊事、ゲーム、ボンファイヤー

- ◆ **場所** 5、12日—青少年創作センター
18、19日—黒川青少年野外活動センター

Stage Up 10 月号もくじ/1995年

● 子ども会議・青少年施設事業参加者募集 ————— 2

◇ 市民アカデミー公開講座聴講生募集 ————— 3

『神楽月の誘い』『遼寧芸術団』前売り中

■ ほんねインタビュー いまを話す ————— 4

『天賜の書』の初個展を開き話題の

知的障害者 瀬崎竜彦さん(19)

● はりきってます グループ紹介 ————— 8

元会社人間の知恵を地域に

二水会(麻生区)

ロマン秘めた音に青春重ねる

田園マンドリンアンサンブル(宮前区)

● 学習・文化情報/会員募集 ————— 10

社労士資格試験準備・パソコン講座受講生募集 ————— 12

TOEIC対策セミナー(初級・中級)受講生募集 ————— 13

◆ ミニニュース ————— 14

◆ 地元のチエリスト、丸山朋文らの楽聖名曲コンサート

◆ 新人音楽会出演者決まる ————— 15

安部順子演奏会/編集後記

◎ 表紙絵……………白樺 ————— 田中 保さん

(小誌は再生紙を使用しています)

かわさき市民アカデミー—秋季公開講座 **聴講生を募集**

「大人の神話」「道元の自然思想」「現代社会とボランティア」

「市民アカデミー」では3つの公開講座を開催します。より多くの市民の方々に参加していただくために、通常の講座に比べて回数が半分（7回）になっています。皆さんの受講を心からお待ちしています。

◆講座①…^{おとな}大人の神話～パウル・クレーの世界。10月25日～12月6日の水曜日10:30～11:50、中小企業・婦人会館。[わが国に愛好者が多いパウル・クレーの絵画は想像以上に奥深い。講座ではスライド映像と分かりやすい解説で、クレー芸術を通して人間のあるべき世界に迫ります] 講師は西田秀穂・東北大学名誉教授。

◆講座②…道元の“自然”思想。10月25日～12月6日の水曜日10:30～11:50、中小企業・婦人会館。[日本思想史上の最高峰として世界の注目を集めている道元の思想を、その著書『正法眼蔵』の中から読んでいきます。日本人は自然を愛すると言われる一方で、わが国の自然破壊は他に類を見ません。果たして“自然”とは何か?道元の言葉に即して考えます] 講師は森本和夫・東京大学名誉教授。

◆講座③…現代社会とボランティア～その実践をめざして。10月28日～12月9日の土曜日13:30～15:00、中小企業・婦人会館。[いま、地域社会や国際交流などあらゆる分野でボランティアの役割が大きくクローズアップされています。講座では最先端の研究者と実践家を招いてボランティア活動の考え方と進め方を学び、あらためて市民活動の意味を問い直していきます] 講師は高島みち代県ボランティアセンター所長他。

◇受講料—各講座 3,500円(7回分)
◇申し込み方法—10月11日(水)9時から ☎422-3932の市民アカデミー事務局へ電話で。(先着順。定員各講座約30人になり次第締め切ります)

姉妹・友好都市文化交流事業好評前売り中

かぐら いざな
神楽月の誘い

11月18日(土) 午後2時半開演

新百合21ホール(新百合ヶ丘駅下車)

11月19日(日) 午後2時半開演

川崎市民プラザ(梶が谷駅からバス)

入場料 全席自由 2,000円

◇早池峰岳流石鳩岡神楽◇

—鶏舞・五穀の舞・天女の舞ほか—

出演 岩手県東和町

早池峰岳流石鳩岡神楽保存会

◇乙女文楽◇

—壺坂靈験記「山の段」—

出演 人形劇団ひとみ座

問い合わせ (財)川崎市生涯学習振興事業団
小杉分室 ☎422-3932

中国遼寧芸術団

～大陸からの新しい風～

中国舞踊、民族楽器
雑技、京劇の饗宴

11月27日(月) 午後7時開演

エポックなかはらホール

(武蔵中原駅下車)

入場料 全席指定 3,000円(前売り)
3,500円(当日売り)

主催:川崎市/川崎市教委

後援:中国大使館/日中友好協会

問い合わせ (財)川崎市生涯学習振興事業団
河原町分室 ☎533-4461

チケット販売 当事業団 ☎952-5000 同情報コーナー ☎233-6250 チケットぴあ、チケットセゾンほか



いまを話す

天才的書の個展を開き
注目される知的障害者

瀬崎 竜彦さん(19)

ゲスト

Vol. 38

心の響き映し出す墨 数多くの美の体験で開花

両親の愛情で

「夢」「心」「海」「風」。伸びやかな筆の運び、美しい墨の曲線。見る人の気持ちにすがすがしくさせる。「心画」心のメッセージ」と題し、川崎市高津区梶ヶ谷、瀬崎竜彦さん(19)がこの夏、アートガーデンかわさきで初の個展を開いた。竜彦さんは知的障害者。ほとんど言葉が発しないが、書を通して私たちに語りかける。毎日書道展審査委員で竜彦さんの書の師、藤波草心さんは「彼の書は天からの賜物。心の響きを映し出す造形言語。心画だ」とその才能を高く評価する。天賜の書に至るまでに、竜彦さんの両親の「数多くのものを見聞させて、心に美が蓄積されると、何かが生まれるはず」との息子への深い愛情と信頼があった。人間同士の信頼は、対話や約束を通して築かれてきた側面が大きい。いま、それが崩れようとしていないか。政治の世界で、会社で、家庭においても。「彼の笑顔を見ると、なぜかほっとする。お地蔵様のような笑顔」と竜彦さんの知人。「心画の世界」を竜彦さんに代わり、母の程子さんと藤波さんが話す。インタビューは「語り」の伊藤真弓さん。

——竜彦君の書は、のびのびとしていて、とにかく気持ちいさわやかになりますね。

瀬崎程子さん ありがとうございます。お勧めもあり、竜彦が社会人になった記念に開いたんです。こんな素晴らしい個展になるとは思いませんでした。たくさんの方から励ましの言葉をいただきました。

——小中学校、養護学校の先生方のおいでになったそうですね。

瀬崎さん はい。世の中には、つねにスポットライトを浴びてい

瀬崎 竜彦 さん

せざき・たつひこ=1976年、川崎市生まれ。4歳児のとき、知的障害と診断される。市立梶ヶ谷小学校、市立宮崎中学校を経て、95年3月、県立高津養護学校高等部を卒業。95年4月から作業所「若草の家」に入所。習字は7歳から、藤波草心さんより手ほどきを受け、数々の書道展に入選。95年7月、アートガーデンかわさきで初の作品展を開催し、その才能が話題になる。趣味は読書。特に日本昔話と辞典が好き。高津区梶ヶ谷に両親と姉の四人家族で暮らす。

る方もいますが、竜彦のような子は、そんな機会はないと思うんですね。竜彦が、多くの方に「おめでとう」と言われ、本当に嬉しそうな顔をしまして……。

運動 強制せず七歳で習字

素晴らしい線と形

—— 竜彦さんのお父さんが案内係りみたいな感じでしたが。

瀨崎さん 「竜彦の作品はすごい」と、いちばん感動していたのは父親なんです。すべての知人に個展の案内状を出したのも父親。

—— 日本の父親って、一人で感激をかみしめるんですね。竜彦さんが書を始めたのはいつごろ？

瀨崎さん 四歳のとき、知的障

害があるとかわり、その時からピアノや水泳、歌、体操などの習いごとをさせました。

—— 竜彦が、興味を持ち楽しく自己表現できるものを身に付けてほしかったのです。

—— 子供に障害があると、親が縮んじやう傾向も。竜彦さんの可塑性を探されたんですね。

瀨崎さん ええ。運動は苦手で拒否反応を示しました。でも、七歳から始めた習字は嫌がらずに通いました。強制させられると嫌がりますので、先生の指導がとても良かったと感謝しています。

—— 藤波先生、習字を始めた頃の竜彦さんの様子はどうでしたか。

才能を引き出す指導とかは……。

藤波草心さん 竜ちゃんを特別扱いして教えたことはなかったです。みんなと同じに指導しました。竜ちゃんが書くことを嫌がったことは記憶にありません。

ただ、習字の表現が他の子供と全く違うので、「ひよつとしたら」と

いう子感めいたものがありました。—— ほう。具体的にどういう点ですか。

藤波さん 普通は、一二三という習字のリズムで書きますが、彼の場合は、すーっと線を引き、自分の解釈、感覚で書きます。筆致や筆順も自分で作り出します。

—— それで作品がおもしろい。間違った字は、もちろん直しますが、好きなように書かせました（さわやかに笑う）。

—— 筆順も人間がつくったもの

ですものね。

藤波さん 「芸術の世界にルールがない」というのが私の持論です。彼の書は素直で線が生きています。キラッと光るところがあり、特に形が素晴らしい。造形言語”です。彼の心のメッセージそのも

ので、それで「心画」としたのです（淡々と）。

—— 竜彦君は、書にどのくらい時間を費やしているのですか。

藤波さん 毎週一回、一時間ぐらいですね。「竜ちゃん、書こう」というと「フンフン」と言いながら五、六枚、続けて書きます。上手に書けた時は、手をたたき笑顔がこぼれます。書に対しての集中力は驚くほどです。

—— 今回、四十点が展示されま



母親の程子さん

「語り」の伊藤真弓さんが聞く

瀨崎 程子 さん

せざき・のりこ＝大学卒業後、1年余りアメリカへ留学。帰国後、川崎市立中教員を10年間勤め、その後、同市立高教員に。1980年、4歳の竜彦君が知的障害と診断され高校を退職し、ボランティア通訳をしながら子育てに。83年から、同市職員の海外研修制度の英語講師（毎年6～10月）。89年から（財）川崎市国際交流協会嘱託職員。

本好き、辞書は丸暗記 偏見の克服は 異なる生き方認め合う

したが、それぞれの字の解釈がきちんと出来ている印象を受けるのですが。

瀬崎さん それは竜彦が小さい頃から辞書を愛読書にしていたからでしょうね。今では辞書を丸暗



藤波草心さん

記しているので、忘れた漢字は彼に聞くんです(笑い)。本も大好きで、毎晩寝る前に読んでいます。

—— 竜ちゃんは漢字博士なんだあ。あつ、初めて笑った。彼が笑うとなぜか楽しくなりますね。

瀬崎さん 皆さんがそうおっしゃってくれます。ですから私は、音楽会や映画館、英語の会など、どこへでも竜彦と一緒に出掛けます。先日、ピアノ演奏会に行った時、

竜彦が声を出すと困ると思い「退屈だったら寝なさいね」と言っていますが、寝たのは私でした(笑い)。本当なんですよ。

—— いい音楽をじつと聴いていたのでしょね。

瀬崎さん 私は信じていたんです。彼が美しいものを見聞することで、それが必ず彼の心の中に蓄積されて、何かが生まれてくると(何度もうなずきながら)。

—— 親子の交わす言葉は少なくても、コミュニケーションは十分取れているのですね。

瀬崎さん さあ、それほど自信は(微笑んで)。

藤波さん 彼は僕らの言葉や表情をよく聞き、よく見て理解してきますよ。なあ、竜ちゃん(竜彦さん照れ笑い)。

—— 障害者はいつの時代でも社会の少数派ですね。そのため「障害者は何もできない」との偏見をなかなか払拭できませんが。

瀬崎さん 残念ですね。どんな子供、どんな人も絶対に個性を持っていると思います。耳が聞こえないのも個性、体が不自由なもの



伊藤真弓さん

個性。一人ひとりの人間の生き方や考え方が違うことを認め合うことが基本だと思っています(静かな声で)。

藤波さん 僕は、竜ちゃんがこの個展で多くの人たちに衝撃を与えてくれたという気がします。

—— 私もその通りだと思います。

藤波 草心 さん

ふじなみ・そうしん=本名・浩。1944年、山梨県生まれ。大東文化大学大学院修士、書道と近世文学を専攻。松井如流に師事。各展の最高賞受賞。80年から3回、川崎市の姉妹都市、ユーゴ・リエカ国際ビエンナーレに入選。85年、ワット・レイモンド氏とパリの画廊で「書と映像の出会い」(展覧会)を開く。代表作は「その日、ひろしま」。現在、東横学園芸術科主任、毎日書道展審査会員。宮前区宮崎に在住。

中学校で共生できた 担任が人権教育実践



竜ちゃんの略歴を拝見しますと、小中学校は自宅に近い市立ですが、瀬崎さん 竜彦に普通の道を歩ませようと思いました。入学するまでには、いろいろなことがありましたが、共生できて本当に良かったと思っています。

—— なにか素晴らしいドラマがあったのですか。

瀬崎さん 市立宮崎中一年の担任は清見利子先生でした。清見先生は「竜ちゃんが幸せにいるときに、学校全体が落ち着いている状態のとき。竜ちゃんの心が動揺しているときは、クラスや学校が乱れた状態のときです。だから、竜ちゃんを見れば友達や学校の状態が分かる」と生徒を教育して下さ

いました。それで「いじめ」にもあわずに竜彦は三年間の有意義な学園生活を過ごせました。

—— 人権教育の必要性が説かれていますが、教育現場での先生の

リーダーシップ。大切ですね。

瀬崎さん 竜彦と接することで「学び感じるものがいっぱいあった」というお友達ができ、清見先生との出会いは貴重でした。

—— 竜ちゃんは幸せだな。

瀬崎さん 私も竜彦から学ぶことが数多くあります。言葉や服装、肩書きなどで人を判断しがちですが、竜彦の判断基準にはそのようなものはないんです。人間性とはなにかを教えられています。今後、竜彦は様々な障害者と手をつないで歩いていくのだと思います。

藤波さん 僕もそれは感じるなあ。竜ちゃんの書は負の美なんです。書家のは正の美で「これでも

か」と思わせる部分がある。彼の書は「見せるぞ」という部分がなく、自然に字が語りかけている。それは、彼が言葉で表現しなくても、その意思が伝わるのと同じなんです。竜ちゃんの作品は自然、純粹さに特徴があるんです。

—— まさに天賜ですな。

藤波さん 「海」は十七歳の作品。「海」と「星」だけで個展が開けると思いました。立派な書家ですよ、竜ちゃんは。ぜひ、外国でも紹介したいと思っています。

題字は高橋清・川崎市長
構成／野々川千恵子
文責／田中 圀



はりきってます グループ紹介

EM菌栽培の花の前で実地講習する会員



家庭で楽しめる ごみ減量実践へ

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

住み住む。

したノウハウを地域で生かそうと学習に励む。

発足時からのテーマは「ごみ問題」。この日は、このほど晴海で開かれた「廃棄物処理設備展示会」の見学報告と討論。

この展示会で、会員が注目したのは「EMたい肥」。生ごみにEM菌の粉を振り掛け、土に還元する生ごみリサイクル。悪臭を放つことはなく、土も増えないうえ、EM菌の値段も一般家庭なら一カ月七、八十円。この土は無農薬野菜の栽培に適しているという。

「お金を掛けず手軽に、生ごみ減量が出来るのに、PR不足から普及しないのでは」「これを家庭で普及させるだけでは、効果的減量にならない」「残飯が毎日大量に出る学校給食や飲食店で利用させるべき」など、活発に意見を交換。白板を使い説明、地方のごみ箱の話も出るなど、真剣な論議にもトゲトゲしさはなく、和やかなムード。長年、企業でつちかつてきた経験と知識が生きる。

同会は、公的資金援助を一切受けず、政党とも距離を置きフリーな立場を堅持し、行政に建設的意見や問題点を指摘している。

これまで、川崎市に「企業・商店のごみは自分たちで処理をさせるべき」缶・瓶のリサイクルも大切だが、ごみの大半を占める紙、生ごみを削減する施策が重要」などを内容とする「ごみ処理に関する提言」や「川崎ごみ問題に関する提言」を文書で提出した。

今後は、ごみ問題と平行して交通問題にも取り組むという。

同会の発足は一九八九年の十月、各市民館のセミナーや区民懇で顔を合わせた男性六人で結成した。

豊田忠法さん(74)は「ごみは非常事態というだけでは駄目。試行錯誤しながら市民自らが行動することが大切」と目を輝かせる。

征矢喜義さん(72)は「今後のごみ対策は、家庭での楽しみがごみ減量につながる」と。EM菌を使いナスの木一本から二百個の収穫があった例もある」と話す。

長谷川代表は「ごみ問題は、市民生活のバブル」がもたらした。バブルがはじけた現在、生活も根本から考え直さないと」と話す。

同代表宅は、麻生区王禅寺二七
一四の五、☎(054)5718。

「麻生区を住みやすいまちに」と、住民が生活の中で緊急に解決すべき課題に取り組んでいる「二水会」――長谷川晟代表(69)ら男性十人――は、民間企業をリタイアした人たち。毎月第二水曜の午前、新百合ヶ丘駅近くのJTB新百合ヶ丘支店会議室で、各企業で体得

元会社人間の知恵を地域に

二水会(麻生区)

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・熊野史子

ワイド版

はりきってます グループ紹介

ロマンスめいた音に青春重ねる

——田園マンドリンアンサンブル(宮前区)

その響きが多感な青春時代を甦らせてくれると「田園マンドリンアンサンブル」の浜田正治代表(68)ら二十一人は、第一、第二土曜の午後、マンドリンのロマンスチックな音色に浸る。

会員は練習場に借りている宮前区の東急建設研修所に集まると、それぞれの楽器のチューニング(音合わせ)をする。一音に二本並んだ弦が微妙に響鳴し合うため狂いのないよう細心の注意を払う。思い思いに指慣らしを済ますと、秋の演奏会に向け、合奏の練習に入る。

オードウェイの歌曲「旅愁」のメロディーが甘美に広がる。ゆつたりと優雅に流れる曲は一転、躍動感あふれたテンポが変わる。また、イタリア民謡のメドレーでは情熱的に歌い上げる高音部を、一回り大きなマンドラが低音で支える。ギターやチェロ、フルートが加わると一段とふくらみを増す。

中世ヨーロッパ貴族の楽器が、海を渡って今東洋の心を魅了する。同会は一九九一年、代表の浜田さんが、マンドリンで青春への

「郷愁とロマンス」を語りたいと仲間を募り、女性を中心に二十人余りで発足した。

発足から二年の間は演奏の機会もあり順調に見えた。だが、その後、夫の転勤や子育てでメンバーの入れ替わりが激しく、会の安定を欠く時期もあった。九四年一月に大畑正さん(日本ギター教授者協会々長)を指導者に迎えると、

学生や男性の加入が増え、以来、年七、八回のステージをこなすまでにいった。

中でも宮前区役所が「役所の堅いイメージを変えよう」と企画した「みやまえロビーコンサート」には節目節目で出演、立ち見も出る百人を超す盛況ぶりだ。また、世界の話題を楽しく紹介する「みやまえ「トークサロン」」でも、スペインやギリシャの民謡を演奏しシヨを盛り上げるなど、すっかり区民におなじみとなった。

ロビーコンサートを聴き、懐かしさかられた奥崎恭正さん(64)は「長いブランクを埋めるのは大変だったが、何とか仲間についていってます」と満足そうだった。

かつての明大マンドリンクラブの指揮者、島崎雅彦さん(28)は「地域で合奏ができて嬉しい。学生時代の友人も呼んで、よりグレードアップできれば」とこよやかに浜田代表は「感性を刺激し老化を防ぎながら、楽しく地域で交流し奉仕したい」と目を輝かす。

同代表宅は、宮前区宮崎五の二の三二。☎(854)5532。

文／小誌・熊野史子
カメラ／小誌・山本綾子

「トークサロン」で
まちの感性を刺激



仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

「大妻女子大学公開講座

①身の回りの再発見②21世紀の環境問題を考える◆大妻学院多摩校大妻文化センター」①は11月1〜29日の毎週水曜10時(15日は14時)全5回。講師は刈田嘉彦・同大学教授ら②は11月11日〜12月9日の毎週土曜13時半、全5回。富永健・東京

大教授らが講義。定員①50人②百人。3千円。申し込みは①10月20日(金)②31日(火)までに往復はがきに①は短期大学部公開講座②は社会情報学部公開講座とし氏名(ふりがな)、性別、年齢、住所、電話番号、勤務先、返信用にあて名を記し〒2066多摩市唐木田2の7の1、同大学事務部公開講座係☎0423(72)9988。唐木田駅下車。

「ボランティア入門講座◆高津市民館」10月19日

11月30日の毎週木曜18時半、全8回。実習あり。無料。修了後、障害者青年教室に参加可。申し込みは10月5日(木)10時から☎(833)7411の同館。

「①小菊盆栽の作り方講習会②果物の鉢作り講習会◆市緑化センター」①は11月15日(水)②は11月17日(金)。13時半から。教材費2千円。定員各30人(抽選)。申し込みは10月31日(火)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区宿河原6の14の1、同センター☎(911)2177。

「聖マリアンナ医科大東横病院市民健康セミナー◆市中小企業・婦人会館」10月28日(土)14時から「脳卒中の予防」高血圧性脳出血、くも膜下出血を中心に」を林龍男・同病院脳神経外科部長が講演。無料。定員140人。問い合わせは☎(722)2121内線5

222の同病院庶務課。

「①音楽講座②スポーツコーナー利用講習会◆県立川崎青少年会館」①はコーラスが10月5日〜来年3月28日の毎週木曜▽クラシックギターが10月6日〜来年3月29日の毎週金曜▽吹奏楽が10月7日〜来年3月30日の毎週土曜。18時45分から。16〜30歳。定員各10人。楽器持参。②は10月21日(土)18時半、ウエイトトレーニングの基本と利用法。対象は16歳以上。保険料千3百円。申し込みは☎(222)5282の同館。

「入門①ジャズダンス②自衛術③ヨーガ④茶道◆県立高津青少年会館」①は10月5〜26日の毎週木曜19時②は10月7〜28日の毎週土曜18時半③は10月12〜26日の毎週木曜18時半④は10月13日〜11月10日の毎週金曜19時。定員10〜20人。対象は青年。申し込みは☎(844)2101の同館。

「将棋講座◆川崎市民ブ

ラザ」11月26日(日)9時半。将棋ルール▽詰め将棋の手筋▽駒落ち将棋で実戦指導。講師はT.V.東京「将棋番組」の高橋和女流初段。2千円。定員60人。申し込みは11月15日(水)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記し〒213高津区新作1の19の1、同ブラザ☎(888)3131。梶が谷駅下車。

「洗足学園大学公開講座「音楽と私たち」◆洗足学園大学」10月25日〜12月6日の毎週水曜18時半、全7回。講義や座談会は山下洋輔・同大学客員教授、穴戸睦郎、佐藤征一郎同大学教授の座談会。全回6千円、1回千円。定員5百人。申し込みは10月9日(月)までに封書で住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号、講座名と80円切手を同封、〒213高津区久本2の3の1、同大学公開講座係☎(877)3211。溝ノ口駅下車。

「木村庄之助氏講演会◆県川崎北労働センター」10月19日(木)18時半。第27代立行司、木村庄之助が、名勝負の裏側や名力士の素顔を。入場無料。定員先着百人。申し込みは☎(722)0171の同センター。

「一日フラワーデザイン教室◆県川崎北労働センター」10月21日(土)「バスケットのアレンジメント」ウエディングにも使えるブーケ▽22日(日)「テーブル花のアレンジメント」コサージュ。13時。エステルフラワーデザインスタジオの青木悦子講師。教材費実費。定員は各20人。申し込みは☎(722)0171の同センター。

市外局番のないものは044

学習・文化情報

学習・文化情報

参加したい催しがある

60歳以上。㉔の1日は男。定員18〜20人。教材費500円。申し込みは①10月11日(水)まで㉔は希望日の1週間前までに㉔(966)1549の同センター。

「講演会」お酒の上手な付き合い方、危険な付き合い方」◆福祉バルかわさき」11月16日(木)13時半。講師は精神科医の高橋浩史・市精神保健相談センター所長。無料。定員50人。申し込みは㉔(200)3241の同センター。川崎駅下車、パレール住宅棟3階。

「川崎労働学校」労働法と社会保障法をめぐる今日の問題◆市立労働会館」11月6日〜12月4日の毎週月曜日(祝日を除く)▽11月17日、12月1日の金曜▽11月21日、12月5日の火曜の各18時半、全12回。講師は中山和久早大教授、金子征史・法政大教授。2千円。先着百人。申し込みは10月16日(月)から㉔(966)4416の同館。

「パートタイム労働セミナー」働くとき雇うとき」◆県川崎合同庁舎」11月9日(木)13時半。谷口優子弁護士講演など。質疑あり。無料。定員40人。申し込みは㉔(233)7351の県川崎労働センター労働福祉課(主催)。「雑学万才教室」◆登戸ドレスメーカー学院」11月22日(水)14時「おもちゃ病院のカルテから」▽25日、12月2、9、16日の土曜18時半、鉄道や手づくり楽器、地域の発達について、加藤一雄・おもちゃ病院長が。1回500円。定員先着30人。申し込みは午前中に㉔(911)2221の同学院。向ヶ丘遊園駅下車。

に書く教室。小学〜高校生無料。定員各10人。申し込みは㉔(222)5282の同館。「輪投げ大会」◆麻生老人福祉センター」10月25日(水)9時半。午前は5人制の団体戦、午後は個人戦。60歳以上。申し込みは団体戦は10月11日(水)までに同センターに来館、個人戦は当日。問い合わせは㉔(966)1549の同所

「新百合ヶ丘駅からバス。歌声の広場」◆県立高津青少年会館」10月5日〜12月21日の毎週木曜19時、全12回。青年。定員15人。申し込みは㉔(844)2101の同館。

「①わくわく実験教室」サイエンスショー◆東芝科学館」①は10月14日(土)10時と13時「音の実験広場」定員各250人㉔は10月28日(土)10時半、13時、15時の3回。電池や磁石、シヤボン玉を楽しく科学。親子。定員は当日先着順百人。無料。申し込みは①のみ㉔(549)2200の同館。川崎駅からバス。

「菊の品種展」◆市緑化センター」10月25日(水)〜11月19日(日)9時半から130種を展示。問い合わせは㉔(911)2177の同センター。「子供のびのび広場」◆県立川崎青少年会館」10月14、28日の土曜10時、卓球、囲碁・将棋▽14日14時、ギター▽28日10時、字をきれいに書く教室。小学〜高校生無料。定員各10人。申し込みは㉔(222)5282の同館。「輪投げ大会」◆麻生老人福祉センター」10月25日(水)9時半。午前は5人制の団体戦、午後は個人戦。60歳以上。申し込みは団体戦は10月11日(水)までに同センターに来館、個人戦は当日。問い合わせは㉔(966)1549の同所

催し



「①ダンスパーティー」㉔囲碁大会◆川崎市民プラザ」①は10月28日(土)18時半。2千円㉔は11月3日(金)9時。大人千円、中学生以下500円。定員2百人。申し込みは①同所で前売り中㉔は10月25日(水)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、段・級を記し〒113高津区新作1-19の1、同プラザ囲碁大会係へ㉔(888)3131。梶が谷駅下車。

「①パート相談」㉔総合労働相談◆市立労働会館ほか」①は11月4日(土)5日(日)10時から㉔は11月9日(木)10日(金)9時から弁護士らが相談に。会場は県川崎合同庁舎。無料。電話相談可。問い合わせは㉔(233)7351の県川崎労働センター。「ポレロを楽しむ会参加者募集」◆富士見台小ほか」市教育文化会館で12月17日(日)16時開演の「ポレロ」の演奏者を募集。練習は10月22日(日)から12月10日(日)の4回。時間は9時半から。楽器の制限なし、合唱も。無料。応募者は㉔(933)8107の同会事務局に所定の用紙を請求。

「北川智繪」言の葉がたり」◆お江戸日本橋亭」10月7日(土)19時開演▽8日(日)14時開演。演目は藤沢周平「夢ぞ見し」▽さねとうあきら「おこんじょうるり」。会費4千円。㉔(711)8032の話芸写主催。会場は地下鉄銀座線三越前駅下車。「プラザ寄席」◆川崎市民プラザ」11月25日(土)18時から。出演は春風亭柳昇、コント山口君と竹田君ほか。入場料は前売り千700円、当日2千円。前売りは㉔

「芸能サロン川崎能楽堂」の四季'95秋◆川崎能楽堂」10月28日(土)14時開演。能と狂言の名作を題材にした組オペラ「隅田川、茸」。入場料は3千500円。前売りは㉔(222)7995の能楽堂。問い合わせは㉔(222)8821の市文化財団。川崎駅下車。「川崎市市民プラザ」11月25日(土)18時から。出演は春風亭柳昇、コント山口君と竹田君ほか。入場料は前売り千700円、当日2千円。前売りは㉔

ステージ



「①ダンスパーティー」㉔囲碁大会◆川崎市民プラザ」①は10月28日(土)18時半。2千円㉔は11月3日(金)9時。大人千円、中学生以下500円。定員2百人。申し込みは①同所で前売り中㉔は10月25日(水)必着で往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、段・級を記し〒113高津区新作1-19の1、同プラザ囲碁大会係へ㉔(888)3131。梶が谷駅下車。「①パート相談」㉔総合労働相談◆市立労働会館ほか」①は11月4日(土)5日(日)10時から㉔は11月9日(木)10日(金)9時から弁護士らが相談に。会場は県川崎合同庁舎。無料。電話相談可。問い合わせは㉔(233)7351の県川崎労働センター。「ポレロを楽しむ会参加者募集」◆富士見台小ほか」市教育文化会館で12月17日(日)16時開演の「ポレロ」の演奏者を募集。練習は10月22日(日)から12月10日(日)の4回。時間は9時半から。楽器の制限なし、合唱も。無料。応募者は㉔(933)8107の同会事務局に所定の用紙を請求。「北川智繪」言の葉がたり」◆お江戸日本橋亭」10月7日(土)19時開演▽8日(日)14時開演。演目は藤沢周平「夢ぞ見し」▽さねとうあきら「おこんじょうるり」。会費4千円。㉔(711)8032の話芸写主催。会場は地下鉄銀座線三越前駅下車。「プラザ寄席」◆川崎市民プラザ」11月25日(土)18時から。出演は春風亭柳昇、コント山口君と竹田君ほか。入場料は前売り千700円、当日2千円。前売りは㉔

学習・文化情報

みたい絵画がある

スポーツ

〔888〕3131の同所。梶が谷駅下車。
 〔川崎市民交響楽団定期演奏会◆市教育文化会館〕
 10月21日(土) 18時半開演。モーツァルト「ピアノ協奏曲第21番 八長調」ヴァイラー「交響曲第一番二長調 巨人」。指揮は石川真也。ピアノは松山元。入場料500円。詳しくは☎(522)6941の中西さん。

〔体育の日記念①チアリーダーデモンストレーション②一輪車演技③ベンチプレス大会◆麻生スポーツセンター〕毎年好成績を修めている麻生高校チアリーダーと'94、'95年と続いて全国優勝の百合丘、中野島一輪車クラブが華麗な演技を披露。ベンチプレス大会は賞品が出ます。いずれも10月10日(火)①11時②12時③13時開始。当日は各室無料開放。☎(951)1234 〓新百合ヶ丘駅下車。
 〔体育の日・区民祭無料開放◆幸スポーツセンター〕

10月10日(火)、21日(土)、22日(日)バドミントン、卓球、トレーニング室、初心者特別トレーニング講習会。詳細は☎(555)3001の同所〓川崎駅からバス。
 〔体育の日記念・チアリーディングデモンストレーション◆川崎市とどろきアリーナ〕全国トップレベルの住吉高校チアリーダーがはつらつとした演技を披露。10月10日(火) 11時半から。当日は施設無料開放で運動着、運動靴、ラケット、シヤトル、球持参。☎(798)5000〓武蔵小杉駅からバス。

ギャラリー

〔ギャラリー華沙里〕10月12日(木)〓24日(火) 清水美三子・サイトウ良版画二人展〓10月26日(木)〓11月7日(火) 〔神林茂油絵展〕☎(954)2333〓新百合ヶ丘駅下車。
 〔三二画廊喫茶〕10月1日(日)〓28日(土) 〔安達貞雄きり絵展〕☎(544)0507〓鹿島田駅下車。
 〔アートガーデンかわさき〕10月3日(火)〓8日(日)「花音〓風をおいかけて」全川崎写真連盟作品展 〔大波沢展〕〓10月10日(火)〓15日(日)「水墨展」 〔ガ展〕「総合展〓木遊会とその仲間たち」〓10月17日(火)〓22日(日)「井出次郎油彩展」鎌倉彫祥刻展 〔上野憲一油絵展・ハケ岳四季展〕〓10月24日(火)〓29日(日) 〔吉川蘭素遺墨展〕坂本善男個展 〓10月31日(火)〓11月12日(日)「かわさき市美術展」。☎(222)8821〓川崎駅下車。
 〔かわさきIBM市民文化ギャラリー〕10月17日(火)まで「さまざま眼 72西山晴恵・山本まり子展」☎(222)8821〓川崎駅下車。
 〔ギャラリー幸〕10月6日(金)〓11日(水)「MAP展」〓10月13日(金)〓18日(水)「青木善版画展」〓10月27日(金)〓11月1日(水)「帆6彩展」☎(555)8181〓川崎駅下車。
 〔会館とどろき〕10月1日(日)〓15日(日)「しゅろの会彫刻展」〓10月17日(火)〓10月22日(日) 〔退職教職員作品展I(写真)〕〓10月24日(火)〓29日(日)「退職教職員作品展II(工芸・編物)」☎(733)3333〓武蔵小杉駅からバス。
 〔中村正義の美術館〕11月5日(日)まで「正義とその仲間たちPar-ti」正義と畔柳ハナハナ。入館料一般500円、学生300円、小中200円、65歳以上無料。月・火曜休館(10月10日は開館)☎(953)4936〓小田急統売ランド前駅からバス。
 〔川崎市市民ミュージアム〕10月3日(火)〓11月12日(日)「海苔と人生〓川崎で海苔が採れた頃」。工都・川崎の臨海部で、かつては塩田が広がり海苔の養殖や漁業が盛んだった。近代化の中で忘れつつある事を問い直す。海苔養殖用具、

社会保険労務士資格試験準備セミナー

●11月4日～来年3月16日毎週土曜13～16時
 受講料 5千円 教材費3万1千円(全16回)
 定員 50人(応募多数の場合は抽選)
 会場 新百合21ビル内 当事業団研修室
 申し込み 10月16日(月) 17日(火)に
 ☎ 952-5000 の当事業団

さらに使いこなすパソコン講座

●11月14日(火)～16日(木)10～16時(全15時間)
 受講料 1万1千円 教材費千500円
 定員 15人(応募多数の場合は抽選)
 会場 市教育文化会館第2学習情報室
 申し込み 10月17日(火)～24日(火)に
 ☎ 233-6250 の当事業団川崎分室

学習・文化情報

楽しいグループがある

漁具、昔を語る写真などの展示と解説▽写真ギャラリー10月15日(日)まで「スタアの肖像」展。▽漫画ギャラリー11月中頃まで「漫画にみる1945年」。入場料一般700円、小中高大生300円(754)4500 武蔵小杉駅からバス。

「画廊ランブ屋」10月4日(水)〜15日(日)「菊池俊治木版画展」。麻生区在住の作家の大作から小品を▽10月25日(水)〜11月4日(土)「西川宏・文字ジョイント展」。ハンズ大賞受賞の2人の革とニットの作品展。火曜休み。☎(945)4416 稲田堤駅下車。

会員募集



●サンジャック(高津区蟹ヶ谷3-3、切刀裕子代表)エアロピクスとストレッチでいい汗かいてストレス解消、健康維持に努めませんか?毎週日曜13時半〜15時、中原市民館で。年齢、性別は問いません。入会金2千円、月会費3千500円。

連絡は☎(777)2550の代表宅(夜)か☎(711)9127の高田。

●英国風花の会(中原区今井仲町248の16、福田麻美代表)色彩学をとり入れた花選びをしています。初心者の方をお待ちしています。月2回、火曜日午前、武蔵中原C・Cセンターで。会費月2千500円。花材費別。連絡は17時以後に☎(722)4110の代表宅。

●アクティブ英会話研究会(多摩区生田1-24の8、小松正泰代表)基礎英語を使いこなす場のない方、アットホームに学びませんか。講師はオーストラリア人です。一度見学に来てください。毎週土曜10〜12時、市教育文化会館で。会費月5千円。問い合わせは☎(857)5364久保田まで。

●環境を考え、地球を救おう会(多摩区宿河原5の21の36、田口操代表)今地球に何が起きているか、どうすれば安全な地球を子どもに残せるかを考えませんか。芝居とビデオ上映を

中心に活動します。ご連絡ください。☎(934)9175の代表宅へ。

●麻生合唱団(麻生区王禅寺1-341の75、稲垣雄史代表)来年8月11日、サントリーホールでパッハの「口短調ミサ」を歌います。出演は佐藤功太郎・指揮、神奈川フィルです。あなたも一緒に感動を味わいませんか。合唱指導は森敏孝先生。毎土曜18時半〜20時半、新百合ヶ丘の青葉幼稚園で。連絡は☎(952)0170小田まで。

●たまミュージカル・シンガーズ(麻生区下麻生86-1の2の9の506、村上マヤ子代表)今春、渋谷でパロディー版「ザ・サウンドオブミュージック」公演。写真が大成功。現在は来年の公演に向け「マイ・フェア・レディ」に取り組んでいます。発声、歌唱、せりふ、ダンスを楽しみませんか。指導は二期会会員の佐藤文行、振り付けは明石京子。練習は第2・3・4木曜10時〜12時、向ヶ丘遊園駅、TAMACカルチャ

ースクールで。入会金3千円、会費8千円。連絡は☎(922)4476谷か☎(945)7933の前田。



●色鉛筆画ゆりの会(多摩区宿河原4の23の2、塩田健治代表)色鉛筆で気軽に絵を描きませんか。第2、4火曜10〜12時、多摩市民館で。会費月3千円。連絡は☎(932)0295の代表者宅へ。

★当欄への情報をお寄せ下さい。公共施設、民間を問いません。原稿はスタッフがりライトします。原稿締め切りはイベント開催月の2ヵ月前の末日必着です。

資格支援取得講座 TOEIC 対策セミナー (初級・中級)

11月11日~来年3月9日 毎土曜日 全15回

時間	初級14:00~16:00	中級10:30~13:00
受講料	各20,000円	教材費 各6,000円
定員	各25人(申し込み多数の場合は抽選)	
会場	新百合21ビル内、市生涯学習振興事業団研修室	
申し込み	10月16日(月)17日(火)10:00~17:00 ☎ 952-5000の当事業団	

ゆりがおか児童合唱団創立25周年記念演奏会
歌い踊る躍動感に感嘆の客席

「ゆりがおか児童合唱団」(山田榮子・指揮、西山淳子・ピアノ)の創立25周年記念演奏会が8月26日、麻生文化センターであり、千人の客席は埋め尽くされた。ステージは3部構成。観客に大きな感動を与えたのが、世界的舞踊家の石井かほる振り付け・演出の「サウンドオブミュージック」(リチャードロジャース作曲、青島広志編曲)。「エーデルワイス」「ひとりぼっちの羊飼い」などの名曲を団員62人が、全体でリズムカルに歌い踊る。艶のあるハーモニーと躍動感に、客席から「かわいい素晴らしい」の声。アンコール曲「トレミの歌」では、ホール全体が手拍子に包まれた。市教委、当事業団などの後援。

ミニニュース

同合唱団を「育てる会」がこのほど発足。年会費は10千円で、20以上。会員には演奏会の招待状や会報が送られる。同会事務局は☎(952)5000の市生涯学習振興事業団内、ステージ・アップ編集室。

足元の戦争見つめる
「平和ウォーキングマップ・川崎」刊行
川崎全市の戦争遺跡をまとめた「平和ウォーキングマップ・川崎」がこのほど、市内の社会科教師、各市民館「平和学級」参加者らによって刊行された。

旧日本陸軍のスパイ・特務機関員を養成した中野学校出身者が細菌や毒物、枯れ葉剤の研究や偽札作りをした登戸研究所▽日吉台地下壕▽幸区□ターリー付近の空襲被害▽在日韓国・朝鮮人と戦争などを調査。遺跡の解説や古老の証言など戦争の事実を記す。戦争遺跡の「散策モデルコース」で戦争追体験も。

同実行委は「日本人3百

万人とアジアの2千万人の犠牲者を出した戦争が、私たちの足元で起こされたことを認識。過去の戦争を知るにことまらず、地域から平和を創る一助になれば」としている。

教育史料出版会発行、1339円。同実行委は法政二高育友会教育研究所内で☎(711)4319。

ひと味違った記念誌
白幡台ふるさと読本
宮前区の白幡台住宅は、川崎市住宅供給公社が建設し入居が始まって20年になるが、同住宅管理組合はこのほど、その年輪を刻んだ「白幡台ふるさと読本」を発刊した。

読本は、管理組合が緑化基本計画を作り、神奈川県の木イチヨウや川崎の名産の禅寺丸(柿)を各棟に植え、「柿の木のある団地」とマスコミでも紹介された緑豊かな団地にしたことや白幡台の今昔▽みやまえ地名探訪など、ひと味違った記念誌になっている。

今年のかわさき新人音楽会で脚光を浴びた
チェリスト・丸山朋文ら新進音楽家による

楽聖名曲コンサート

ドイツ文化会館 OAGホール 10月27日(金) 午後6時開演
(地下鉄銀座線青山1丁目駅下車、草月会館横入)

入場料 2,500円(全席自由)

- 出演 — 丸山朋文(チェロ) 澤菜穂子(ヴァイオリン) 西垣ますみ(同)
田中みちよ(ソプラノ) クラリネットクラブタウルス 磯典子(ピアノ)
大須賀えり(同) 中島彩(同) 西川香子(同) ホラーク・ミハル(同)
- 曲目 — マンデルスゾーン・ピアノトリオ 二短調 作品49▽バッハ・イタリア協奏曲
▽ボッケリーニ・チェロ協奏曲 変ロ長調 ほか
- 主催 アジア アート アソシエーション ☎ 03 (3586) 5208

安部 順子

ソプラノリサイタル



11月6日(月)
午後7時開演

こまばエミナーズ

(京王井の頭線駒場東大前駅下車)

伴奏 佐々木えり子 (ピアノ)
 曲目 シューマン「女の愛と生涯」
 トゥーリーナ「歌のかたちの詩」
 より ヴェルディ「トロヴァトーレより『恋はバラ色の翼に乗って』」
 プッチーニ「蝶々夫人より『ある晴れた日に』」ほか
 入場料 全席自由 3,500円
 前売り チケットぴあ
 ☎03(5237)9990
 主催 芸術村あすなる
 ☎044(933)8724
 後援 市生涯学習振興事業団ほか

かわさき新人音楽会 出演者13人決まる

'96年1月14日 麻生文化センター

「第7回かわさき新人音楽会オーディション」(市教委、当事業団主催)が、7月16、29日の2日間、市教育文化会館と幸文化センターで開催され、昨年を約40人上回る72人が出場、日ごろの練習の成果を競い合った。

審査(審査委員長・吉田貴寿昭和音楽大学長)の結果、来年1月14日に麻生文化センターで開かれる「かわさき新人音楽会」に出演する合格者は、次の13人に決まった(敬称略)

〈弦楽器部門〉

南條由起・ヴァイオリン

〈管楽器部門〉

芹ヶ野恵・フルート▽古谷享子・サクソフォーン▽白岩真紀・トロンボーン

〈声楽部門〉

鈴木結子▽永井雅子▽本居麻波

〈ピアノ部門〉

笠井祐子▽木下順子▽釣由美▽中山美知▽渡辺美奈

〈打楽器部門〉

山下真理・マリンバ

なお、同オーディションは、可能性に満ちた若い音楽家たちに演奏する機会を提供し、地域にすぐれた音楽文化を根付かせる目的で開いている。

編集後記

県や市の上級幹部が、国の高級官僚を接待する「官官接待」が大きな社会問題になっている▼「接待」といえば、民間企業が政治家や国のお役人を接待、ワイロを贈り、事業に便宜を図って貰ったリクルート社や佐川急便の「民間接待」と思っていた▼許認可権を持つお役所が、企業の生殺与奪権を握ることもある▼「官官接待」の当事者が「国との潤滑油は必要」と、その費用が税金なのに「ためらい」を感じないのは慣れのせい▼「飲み食い」と遊びのカネを自分の財布から出せないのかねえ」とは年金生活の男性の声▼官官接待の底流に、税金の大部分を国が召し上げ、地方自治体が分配にあずかる構図がある▼「地方自治体がすべての税を徴収し、その一部を国に渡す税制にする時期」との識者の指摘もある▼中央と地方が対等の関係になれば、官官接待は不要になる▼「かわさき市民アカデミー」が設立されて二年▼講師・会員・OBが協力して、税制を地方型に改革する研究・提言を考えてはどうか▼税制とは、暮らしに直結する制度▼暮らしに役立つ学習・研究機関としての「かわさき市民アカデミー」の「川崎らしさ」とは？

借りるコツ、あります。

あなたのプランにピッタリのローンはどれですか？



借りやすいこと。



だんぜん低利でワイドな使いみち。一枚で多彩に使えるカードローン。

カーライフローン **マイプラン**

資産が活きる多目的な大型ローン。家計に負担をかけずに学資づくり。

生き活きローン **教育ローン**

返しやすいこと。

★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎ 044 (244) 8331

中原支店 ☎ 044 (733) 0161

川崎南支店 ☎ 044 (277) 8211

新百合丘支店 ☎ 044 (989) 1111

民謡ロック 伊藤多喜雄コンサート

生活から生まれた民謡がロックのリズムでいま魂をゆさぶる！



12月1日(金)午後6時半 開演

エポックなかはらホール

(JR南武線武蔵中原駅前)

出演 伊藤多喜雄 & TRYIN' TIMES

曲目 トラジ(韓国) 津軽じょんから節(青森)

アリラン(韓国) ソーラン節(北海道)

とっばら一ま(沖縄) こきりこ節(富山)

入場料 3,500円(全席指定)

●申し込み (財)川崎市生涯学習振興事業団 ☎ 952-5000

同川崎分室情報コーナー ☎ 233-6250

チケットぴあ・チケットセゾン

●問い合わせ 同小杉分室イベント事務局 ☎ 422-3932

主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団 / 川崎市教委

発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)5000代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園